

資料 4 - 1 道路騒音騒音予測式について

4.2 騒音

■修正前 (258 ページより抜粋)

① 予測式

予測式は、「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版」((財)道路環境研究所, 2007 年)に記載されている次式を用いた。

この予測式は一般的に広く道路交通に係る騒音予測計算で用いられているものである。また、予測対象道路は単純な平面構造の道路であり、特異な音の発生や伝搬状況とはならないと考えられる。このため、この予測式の適用は妥当であると考ええる。

$$L_{Aeq} = L_{Aeq}^* + \Delta L$$

$$\Delta L = 10 \log_{10} \left\{ (10^{L_{Aeq, HC/10}} - 10^{L_{Aeq, R/10}}) / 10^{L_{Aeq, R/10}} \right\}$$

ここで、

L_{Aeq} : 工事関係車両運行時の等価騒音レベル (dB(A))

L_{Aeq}^* : 現況等価騒音レベル (St. 4 の測定値 (昼間) = 66.4 dB(A))

ΔL : 工事関係車両の走行により増加する等価騒音レベル (dB(A))

$L_{Aeq, R}$: 現況交通量から ASJ RTN-Model 2008 を用いて求められる等価騒音レベル (dB(A))

$L_{Aeq, HC}$: 現況交通量 + 工事関係車両の交通量から、ASJ RTN-Model 2008 を用いて求められる等価騒音レベル (dB(A))

■修正案

予測式は、「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版」((財)道路環境研究所, 2007 年)に記載されている次式を用いた。

この予測式は一般的に広く道路交通に係る騒音予測計算で用いられているものである。また、予測対象道路は単純な平面構造の道路であり、特異な音の発生や伝搬状況とはならないと考えられる。このため、この予測式の適用は妥当であると考ええる。

$$L_{Aeq} = L_{Aeq}^* + \Delta L$$

$$\Delta L = 10 \log_{10} \left\{ (10^{L_{Aeq, R/10}} + 10^{L_{Aeq, HC/10}}) / 10^{L_{Aeq, R/10}} \right\}$$

ここで、

L_{Aeq} : 工事関係車両運行時の等価騒音レベル (dB(A))

L_{Aeq}^* : 現況等価騒音レベル (St. 4 の測定値 (昼間) = 66.4 dB(A))

ΔL : 工事関係車両の走行により増加する等価騒音レベル (dB(A))

$L_{Aeq, R}$: 現況交通量から ASJ RTN-Model 2008 を用いて求められる等価騒音レベル (dB(A))

$L_{Aeq, HC}$: 工事関係車両の交通量から、ASJ RTN-Model 2008 を用いて求められる等価騒音レベル (dB(A))

■修正前（260 ページより抜粋）

5) 予測結果

工事関係車両の走行による騒音の予測結果は表 4.2-12 に示すとおりとなった。

表 4.2-12 工事関係車両の走行による等価騒音レベル予測結果

単位：dB(A)

予 測 地 点	測定値 (L_{Aeq}^*)	計算値			予測結果 ($L_{Aeq}^* + \Delta L$)
		現況 ($L_{Aeq,R}$)	工事中 ($L_{Aeq,HC}$)	工事による増加量 (ΔL)	
St.4 県道西伊那線 (押出公民館付近)	66.4	67.6	68.0	0.4	67 (66.8)

注) 予測値は、昼間の時間における地上 1.2m の値である。
予測値は、計算値の小数点以下第 1 位を切り上げた。

■修正案

工事関係車両の走行による騒音の予測結果は表 4.2-12 に示すとおりとなった。

表 4.2-12 工事関係車両の走行による等価騒音レベル予測結果

単位：dB(A)

予 測 地 点	測定値 (L_{Aeq}^*)	計算値			予測結果 ($L_{Aeq}^* + \Delta L$)
		現況 ($L_{Aeq,R}$)	工事中 ($L_{Aeq,HC}$)	工事による増加量 (ΔL)	
St.4 県道西伊那線 (押出公民館付近)	66.4	67.6	<u>57.5</u>	0.4	67 (66.8)

注) 予測値は、昼間の時間における地上 1.2m の値である。
予測値は、計算値の小数点以下第 1 位を切り上げた。

■修正前（279 ページより抜粋）

5) 予測結果

ごみ収集車両等の走行による等価騒音レベルの予測結果は、表 4.2-29 に示すとおりとなった。

表 4.2-29 ごみ収集車両等の走行による等価騒音レベル予測結果

単位：dB(A)

予 測 地 点	測定値 (L_{Aeq}^*)	計算値			予測値 ($L_{Aeq}^* + \Delta L$)
		現況 ($L_{Aeq,R}$)	供用時 ($L_{Aeq,HC}$)	供用時の 増加量 (ΔL)	
St.4 県道西伊那線 (押出公民館付近)	66.4	67.6	68.7	1.1	68(67.5)
St.5 県道沢渡高遠線 (富県郵便局付近)	62.5	64.3	64.4	0.1	63(62.6)

注) 予測値は、昼間の時間における地上 1.2m の値である。

予測値は、括弧内の計算値の小数点以下第 1 位を切り上げた。

■修正案

ごみ収集車両等の走行による等価騒音レベルの予測結果は、表 4.2-29 に示すとおりとなった。

表 4.2-29 ごみ収集車両等の走行による等価騒音レベル予測結果

単位：dB(A)

予 測 地 点	測定値 (L_{Aeq}^*)	計算値			予測値 ($L_{Aeq}^* + \Delta L$)
		現況 ($L_{Aeq,R}$)	供用時 ($L_{Aeq,HC}$)	供用時の 増加量 (ΔL)	
St.4 県道西伊那線 (押出公民館付近)	66.4	67.6	<u>62.1</u>	1.1	68(67.5)
St.5 県道沢渡高遠線 (富県郵便局付近)	62.5	64.3	<u>47.3</u>	0.1	63(62.6)

注) 予測値は、昼間の時間における地上 1.2m の値である。

予測値は、括弧内の計算値の小数点以下第 1 位を切り上げた。